蔵王嶽 広報

かじき

No.383 昭和61年 9月号

発行 加治木町
編集 総務課

題字 東町長

名月

『月月に月見る月は多けれど、月見る月はこの月の月』と言う歌があります。月はやっぱり中秋の名月に限ります。

中秋の名月にススキや団子(だんご)を供えて月見をする風習は各地にあり、人間は古(ふる)くから月にロマンを感じてきました。

その月に、初めて人間が降り立ったのは、一九六九年のこと――『一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとって大きな飛躍である』と言ったアームストロングの言葉は有名です。

ところで、月にロマンを感じるといえば、テレビで育った若い世代よりも、お年寄りのほうが気持ちは強いはず。

九月十五日は敬老の日です。

竜門西元地区の“十五夜の綱かき”（毛上公民館にて8月31日）

◆人口23,299人(＋30)男10,926人(＋16)女12,373人(＋14)世帯数 7,972(＋2) 61.8.1現在（ ）前月比

伝えてください〝知恵と経験〟

九月十五日は「敬老の日」

落語の世界の八っさん熊さんは、困りごとがあると横丁のご隠居さんの所へ相談に行きます。

相談を受けたご隠居さんは「お前さんがた、そんなことも知らないのかい」という具合で迷惑がっていますが、その実とてもうれしそうです。「それはだね……」ご隠居は、半ば誇らし気に、少しもったいぶって話を始めます。

このように、お年寄りは〝知恵袋〟とか〝生き字引き〟と呼ばれて大切にされてきました。

九月十五日は「敬老の日」。

若い世代との交流の場を持ってもらう意味でも、地域社会での活動を通じ、お年寄りの持つ〝知恵と経験〟を伝えてもらいましょう。

7歳から タカンバッチョ作り

三代目・有馬国雄さん(75歳)

川原の有馬国雄さん(七五)は七歳の時、祖父に教わったタカンバッチョ作りを今も元気に続けています。

「最近は、体がどうも」といいながらも、鹿児島神宮・霧島神宮で行われるお田植え祭用の百五十あまりのタカンバッチョは「有馬さんでなければ」と毎年注文が来るほか、踊り用や民芸品などとして県外からも注文が舞い込み、今でも年間四百枚あまりのタカンバッチョ作りに励んでいます。

有馬さんは「小学校から帰ると一番上のカバ（仕上げ）の部分が残してあり、楽しみにして作っていたものでした」と話されました。

昔ながらの〝タカンバッチョ〟。ぜひ長く伝えて欲しいものです。

今日も元気に製作に励む

人生80年時代を迎えて

町長　東　國雄

「敬老の日」にあたり、明治・大正・昭和の三代にわたり、郷土の発展に大きく貢献されてきた皆様がたの御長寿を祝福し、心からお慶び申し上げます。

近年、医学や環境衛生の発達などにより日本人の平均寿命は大きく向上し、現在六十五歳以上の人の平均余命は、男性で約十六年、女性で十九年となっており、二〇二〇年には、六十五歳以上のお年寄りは〝五人に一人〟の割合になるといわれております。

東　町長

私どもといたしましても、長老を尊敬し敬愛する思想をいっそう高めるとともに、人生八十年時代を迎え、お年寄りの皆様が、生きがいのある毎日を送っていただくため保健医療対策、社会活動への参加など高齢者福祉対策のいっそうの充実強化を図ってまいりたいと念じているところであります。

今後ともますますお元気で、さらに長寿を保たれ、お健やかにお過ごしくださることを、私たち町民みんなでお祈りいたします。

慶祝　九十歳以上の長寿番付

六十一年九月十五日

〈東〉

横綱　川畑トモ(九六)望岳園
大関　山内テル(九五)札立
関脇　野口伊四郎(九五)望岳園
小結　西ヨシ(九五)望岳園
前頭　高木モヨ(九四)望岳園
前頭　松下アグリ(九四)小陣
前頭　山口吉次(九三)下嶽
前頭　宮崎スエ(九三)西反土後
前頭　岩下ヒデ(九三)竹下
前頭　園田ヤヘ(九二)望岳園
前頭　重森ケサミツ(九二)反土黒川
前頭　小門口モト(九二)望岳園
同　谷口ケサチヨ(九二)里ノ上
同　小林ツル(九二)柳田
同　墨アサ(九二)札立
同　久保ヒデ(九二)田中
同　坂元ケサノ(九二)宮田ケ平
同　恒森クラ(九二)西反土後
同　吉野ヨ子(九〇)岩原西
同　大迫イツ(九〇)下浜
同　北薗君(九〇)中福良後
同　山元ケサ(九〇)望岳園
同　榎谷清(九〇)丸岡
同　安田富義(九〇)岩原西

〈西〉

横綱　竹下アイ(九六)南塩入
大関　曽木ヒデ(九五)柳田
関脇　立元金之助(九五)垂ノ口
小結　森木イト(九四)桃木野
前頭　川元キシヨ(九四)札立
前頭　服部タカ(九四)望岳園
前頭　大園フデ(九三)下浜
前頭　川崎清二(九三)柳田
前頭　榎田喜太郎(九二)楠原
前頭　松下クサ(九二)望岳園
前頭　川添新(九二)日本山黒川
前頭　大吉ミツ(九二)柳田
同　緒方マセ(九二)於里
同　湯田フク(九二)望岳園
同　庄村常三(九二)今町
同　大村清蔵(九二)下新道
同　東川内為二(九二)川内
同　中山敬次(九〇)菖蒲谷下
同　森木喜左衛門(九〇)隈原下
同　山下スマ(九〇)岩原西
同　本田千代(九〇)望岳園
同　大山マス(九〇)望岳園
同　井手向栄蔵(九〇)井手向
同　垂水愛吉(九〇)西塩入中

愛がなくっちゃ。希望がなくっちゃ。赤い羽根。

共同募金
10月1日～12月31日

――今年の目標は４０３万円――

次のような使途を計画しています

（その他の費用・運動経費など52万円を含む）

赤い羽根共同募金運動は、今年で四十回目を迎えました。

毎年変わりない皆様のご協力が私たちの身の回りの福祉に大きく役立てられています。

机の中の一円玉や五円玉などを共同募金に寄付しましょう。

鹿児島県共同募金会
加治木町分会
電話　六二―二〇四一

八十五万円

子どもの幸せのために

十二万円

体の不自由な人の幸せのために

百十九万円

お年よりの幸せのために

八十三万円

歳末助けあいに

二十六万円

病気などで生活に困っている人のために

二十六万円

お父さん、お母さんのいない家庭の幸せのために

去年の実績	
４５６万円	
（歳末助け合い78万円）	
老人福祉費	104万円
児童福祉費	78万円
障害児者福祉費	20万円
母子福祉費	22万円
歳末助け合い	78万円
その他	154万円

生活学校だより

高齢化社会を考える

心豊かに幸せな老いを迎えるために、町生活学校では本年度のテーマを『高齢化社会を考える』とし、活動を始めました。

近年、高齢化社会の波が急速に押し寄せ、それを取り巻く多くの問題が全国的に高まり、対策が急がれています。

中でも鹿児島県は、指折りの高齢化社会といわれています。

ちなみに、加治木町の実態は▼高齢者（六十五歳以上）…三千百人▼独居老人…六百人▼寝たきり老人…三十三人▼家庭奉仕員（ホームヘルパー）…四人▼奉仕先の独居老人（七十一歳から九十一歳）…十三人（男二人、女十一人）▼入院者…三人（男二人、女一人）……となっています。

生活学校では、お年寄りに幸せな生きがいのある老後を過ごしていただくために、また、私たちが高齢化を迎えるにあたり私たち〝地域住民〟はどうすべきか、お年寄りのかたがたと対話をし、より心豊かな生きがいのある快適な生活が送れるよう地域環境の問題点をさぐり、解決への糸口を見い出していきたいと思っています。

現在、日本の社会は、若者向けに作られていると言われています。高齢化社会が進行する中では、高齢者が安全で快適に住める社会を作っていく必要があるのではないでしょうか。

町民の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

ゴミの減量を

昨年度までのテーマ「ゴミ処理とリサイクルを考える」は、引き続き課題として〝ゴミの減量〟を呼びかけてゆきます。

◎ゴミは分別処理をし、決められた日に出しましょう。

◎空き缶は〝カン太郎〟へ――再利用に努めましょう。

◎生ゴミは、出す前にギューッと〝ひとしぼり〟――水分は重量に入ります。

◎ゴミキエールで生ゴミや落葉を堆肥に――（町・町衛生協会で半額補助し、二千五百円であっせんしています）

◎廃油で石けんを…毎月八日にスーパーこうかで、廃油と石けんの交換を行っています。

◎家庭から流すビールやソース、しょうゆ、そして〝合成洗剤〟が、美しい海や河川を汚し、赤潮の原因になっています。

美しい海や河川を守るように心がけましょう。

▽生活学校では「明るく住みよい地域づくり」をめざし、運動の輪を広げています。

あなたも参加してみませんか。

■問い合わせ先…町教育委員会社会教育課（☎62―2111）

規律訓練などを実施

消防法施行記念行事

消防法施行記念日の八月一日、町消防団（大吉操団長、団員百六十二人）では、暑い夏の日ざしが照りつける中、町営グラウンドで規律訓練や操法の披露を行い、団員の士気の高揚を図りました。

この日は、規律訓練の後、消防庁長官表彰などの伝達が行われ、また、支部操法大会に出場する中央分団と錦江分団が、日ごろの訓練の成果を披露し、参加者から盛んな拍手を受けました。

表彰を受けたかたがたは、次のとおりです。

▽消防庁長官表彰

永年勤続功労章　副団長　東　光義

▽日本消防協会会長表彰

精績章　副団長　東　光義

勤続章（三十年）　元西別府分団班長　川床　利雄

▽鹿児島県消防協会総裁表彰

功績章

小山田分団分団長　市来原松義
小山田分団　部長　田中　健二
小山田分団　班長　松葉瀬義美
西別府分団　班長　西村　勝
中　央分団　団員　大山　一男

精績章

小山田分団　班長　川原　輝夫
西別府分団　団員　今村　芳男

勤続章（三十年）

元西別府分団班長　川床　利雄

勤続章（二十年）

小山田分団分団長　市来原松義
小山田分団　部長　田中　健二
小山田分団　班長　松葉瀬義美
西別府分団　班長　西村　勝
中　央分団　団員　大山　一男

▽鹿児島県知事表彰

勤続章（十年）

西別府分団副分団長中村　正紀
西別府分団　団員　桃木野　学
中　央分団　団員　谷口　敏彦
錦　江分団　団員　桃木野一男
錦　江分団　団員　石原　国昭
錦　江分団　団員　戎　孝
小山田分団　団員　山元　司
辺　川分団　団員　神園　勇

ポンプ操法を披露

毎月15日は防火の日

右折の時は後方の確認を

交通安全 母親指導者研修会

幼児や小学生を持つお母さん四十人あまりが参加して、交通安全母親指導者研修会が七月三十日、役場グラウンドで行われました。

この日は、県警交通機動隊員と加治木警察署員が「正しい姿勢で乗りましょう」「右折の時は、後方を確認しましょう」と、自転車とミニバイクの正しい乗り方を指導。参加者はグラウンドに設けられた交差点などのコースを実際に走りながら熱心に研修していました。

また、姶良郡西部消防組合・消防隊員の指導で〝消火器の正しい使い方〟の実習も行われました。

安全確認を忘れずに

家族で話そう 交通安全 ④

まず「なぞなぞ」を一つ。

▽一本足の、すっきりした大きな目で、いつもあなたの視線を感じながら道路わきに立っているものなあに……。

おわかりになりましたか？

そうです。〝ロードミラー（道路反射鏡）〟なんです。

道路の曲り角や十字路あたりで、いつも皆さんと視線が合っていますが、ほんの瞬間だけで後は忘れられてしまっている。

しかし、よく考えてみると、ロードミラーは現代の車社会にとって「命綱」の役目を果たしているといえないでしょうか。

「やさしさ」をありがとう

現在、町内には、町道を中心に六百五十ほどのロードミラーが立っていますが、中には車にぶつけられたり、投石によってくぼんでいるものも数多く見受けられます。しかし、残念なことに〝当て逃げ犯人〟は容易に見つからず「くやしい」と思うことしきりです。

道路交通法違反といった、いかめしい罰則など全然ないわけで、ただただ次に通行する人へのあたたかい思いやりの心で御一報願えればよいのですが…。

なぜ、ロードミラーは雨や風にもめげず、いつもきれいにしているのか、ご存じですか。

手入れなしでは、決してお役にたてないことをご承知ください。スポーツ少年団の子供たちとその父母のかたがた、また、地域のかたがたのじみではありますが、心あたたまる奉仕で、安全が保たれていることを知っていただきたいのです。

皆さんの「やさしさ」本当にありがとうございます。

投石でくぼんだカーブミラー

250本のヒマワリを育てる

人権の花モデル校・柁城小学校

柁城小学校（安田隆文校長・児童数九百九十四人）の校庭に、夏の日ざしを受けて二百五十本あまりのヒマワリが大きな花をつけました。

これは、今年度、法務省から〝人権の花モデル校〟の指定を受け「人権の花・ヒマワリ」を、学校ぐるみで育てているもので、五月末に全員で学年園などに植え付けました。

夏休み中も六年生が交担で水やりを欠かさず、八月十九日は恒吉直美さん、富田久美さん、石川いづみさん、柱野智絵さん、中園寛子さんの五人が、自分たちの身長の倍以上に成長したヒマワリに、ていねいに水を与えていました。

育てよう〝人権の花〟

「借金も相続の対象です」

人権モデル地区講演会

加治木町は、今年度、法務省から「人権モデル地区」の指定を受け、人権思想の普及、高揚に努めるため、各種団体が一体となって種々の事業を推進しています。

この事業の一つとして、鹿児島地方法務局・堀加治木支局長を講師に迎え「相続について」と題し、人権モデル地区講演会が八月十一日福祉センターで行われました。

堀支局長は「財産は、妻や子の加勢によって作られたものです。それを分けてやる。これが相続の一つの考え方です。また、借金も相続することになります」などと講演し、参加者は熱心に聞き入っていました。

巡回無料法律相談を実施

■10月13日⑪　午前10時～午後3時
■町福祉センター
●(財)法律扶助協会・鹿児島支部から派遣された2名の弁護士が、皆様のご相談に応じます。お気軽においでください。

●問い合わせ先
「町人権モデル地区推進協議会」事務局
☎62―2111(内線27)

暮らしの法律相談 ⑥

1人だけの新しい戸籍が作れるか

質問

私の息子はまだ独身ですが、二十五歳になるのに不良仲間と事件を起こし手をやいています。

娘が年頃で、このような兄がいると縁談にさしつかえますので、息子の籍を抜きたいのですがいい方法はないでしょうか。

回答

◇分籍することはできる

成人に達した者は、戸籍の筆頭者とその配偶者でない限り、一人で新しい戸籍を作り、従来の戸籍から独立することができます。

これを分籍といいます。

（戸籍法二一条）

戸籍は、一夫婦とその間の未婚の子を一単位として編成されているのですが、分籍して新戸籍が編成されますと、その子は父母の戸籍から除籍されます。

（戸籍法二三条）

けれども、分籍は、本人の自由意志で行われますので、父母の同意を必要としませんし、逆にたとえ親でも勝手に分籍させることはできないのです。ちなみに、戦前の民法で認められていた「離籍」の制度は廃止されましたので、あなたの息子が、自分の意志で分籍の手続きをしない限り、籍を抜くことはできません。また、分籍は戸籍を別にするだけのことで、氏や、親子としての権利、義務に変わりがないのはもちろんです。

◇除籍される場合

従来の籍が除かれることを除籍といいますが、死亡等、身分がなくなった時や、分籍のほか、身分の変動によって新戸籍が編成された時に行なわれます。

戸籍は、人の身分関係を公証するものですから、同じ人について、二つ以上の戸籍は作られませんので、新しい戸籍が編成されると、元の籍は、職権によって当然に除かれるのです。ですから、除籍は、届出によってされる性質のものではなく、あなたが、息子の籍を抜きたいと思っても、その方法はないのです。

ところで、未婚の子が新戸籍編成により除籍される場合としては、結婚によって夫婦の新戸籍が編成された時、養子縁組によって養父母の籍に入籍した時が、典型的な例でしょう。

また、未婚の女子が出産すると、母と婚姻外の子の新しい戸籍が作られ、親の籍から除かれます。これらは、いずれも本人の身分変動の結果生じるもので親が除籍を強制することはできません。分籍・除籍によって籍が別になっても、親子の縁は一生切れませんので、籍を別にすることを考えるより、息子との円満な親子関係を回復する根本的な解決策を考えるべきではないでしょうか。

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。お気軽にご相談ください。

秘密は固く守られます。

▽宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七―二B―十四
（電話　六三―三七八七）
▽中摩多美子　反土二七五六
（電話　六二―二七六八）
▽岡山秀樹
錦江町二五三番地二
（電話　六三―二八七八）

町は昭和六十一年度「人権モデル地区」に指定されています

まちのわだい

アンカレッジから留学生

国際ロータリー２７３地区　加治木クラブが招待

「日本の家庭で、生活や習慣に直接ふれてもらい、相互理解を深めよう」と、国際ロータリー二七三地区・加治木クラブでは、初めてアンカレッジからの女子留学生を受け入れました。

この留学生は、ダウンタウン出身のシンディ・ビンガンさん十五歳。シンディさんは、加治木高等学校の二年五組に編入しむこう一年間、日本について勉強することになっており、加治木クラブの宮薗公洋さん、美坂正幸さん、後藤範夫さん、馬場健治さんの家庭がポストファミリーとなって三か月づつシンディさんといっしょに生活し、交流を深めることにしています。

シンディさんは、八月二十三日に宮薗さん宅へ到着。すぐに家族とも仲良しになり、二十四日には、須崎海岸で会員らと建て網を楽しみました。

〝むら自慢づくり〟キャラバンが来町

「むら自慢づくりの意義を広く県民に呼びかけよう」と、県農村振興運動〝むら自慢づくりキャラバン〟の一行六人が八月五日、加治木町を訪れました。

この日は、町長室で向江助役が町のむら自慢づくりの成果をまとめた県知事あての「むら自慢目録」をキャラバン隊に手渡しました。

丈夫でたくましく育てよう

サンライフ親子栄養教室

正しい食生活のあり方を母子ペアで学習し丈夫でたくましい子供を育てようと、今年もサンライフ親子栄養教室が開催されました。

一回目は、柁城小学校の六年生とその母親二十六人を対象に、七月二十六日保健センターで開催され、新納保健婦から「健康づくりについて」、また、栄養師の池畑ミネ子さんから「発育盛りの栄養について」の講演を聞いた後、男の子もエプロン姿で、あさり貝と牛乳を使った「クラムチャウダー」や「大豆入り菜めし」などを作りました。

調理の後は、お母さんと向かい合って試食を行いましたが「クラムチャウダーがおいしいネ」などと話しもはずんでいました。

蒲田通りに〝七夕飾り〟

第六回町子ども七夕まつりが七月三十一日、福祉センターで行われ、子供たちやお母さんなど約二百人が、ハサミを手に、色紙や広告の紙などを使って十二本の〝七夕飾り〟を作りました。

これは、町子ども会育成連絡協議会が、蒲生田通り商店街組合の協力を得て毎年実施しているもので、出来あがった七夕飾りは、さっそく蒲田通りに飾られ、道行く人の目を楽しませました。

まちのわだい

キス大物賞は350g
第4回 観光キス釣り大会

キス釣りを楽しみながら、海をきれいにする心を育てようと、第十四回観光キス釣り大会が七月二十七日、錦江湾を会場に行われ、四百人あまりの太公望が腕を競いました。

検量の結果、キス大物賞は三百五十グラムのキスを釣った染川一郎さんが獲得しました。

そのほかの結果は、次のとおりです。

▽キス重量の部
優勝…鬼塚時文　二、一三〇グラム
二位…内山雅広　二、一〇〇グラム
三位…山本　順　二、〇九〇グラム
▽アメ重量の部
優勝…奥屋悦仁　二、三〇〇グラム
二位…大西昭信　一、七六〇グラム
▽雑魚大物賞
タコ（八〇〇グラム）　原田一彦

キス重量賞　鬼塚時文さん

青空図書館は大好評

町立図書館主催の〝青空図書館〟が、今年も小烏神社や永原小学校など六か所で行われ、子供やお母さん方三百人あまりが、木陰で読書や紙芝居などを楽しみました。

一回目の護国神社では七月二十五日、二十人あまりが集まり、涼風が吹き抜ける中、思い思いに本を広げ、熱心に読んでいました。

また、今年は、色紙を使った切り絵作りも行われ好評でした。

日曜在宅のお医者さん

▽診療時間（原則として）午前九時から午後五時まで
▽当日の往診ならびに緊急以外の受診は、ご遠慮ください。

月日	在宅医	電話番号
10月5日	上妻医院	小山田 62—2421
10日	平山医院	本町 62—2468
11日	大井病院	本町 63—2291
12日	牧医院	朝日町 63—2222
19日	大川医院	錦江町 62—2032
26日	鬼丸小児科	新生町 62—0308

夏まつりで披露

〝棒踊り〟を伝承しよう
西浦子ども会の有志

町制七十周年を機会に復活された〝竜門西浦地区の棒踊り〟（田中健二保存会長、十五人）を「自分たちの手で伝承していこう」と西浦子ども会の有志が集まり、練習に励んでいます。

これは、山口秀二さん（高校一年生）をはじめ、小学校の三年生以上七人と、中学生八人のグループで、毎月一回、最終日曜日の夜八時から、西浦公民館で、大人にまじって練習を続けています。

この棒踊りは、鎌倉時代から伝承されていたと言われ、地区の氏神、大井上神社の秋祭りに奉納されていました。

今年は、八月三日に行われた夏まつりにも出演。日ごろの練習の成果を披露し、集まった観衆から盛んな拍手を受けていました。

『カネと太鼓』真夏の競演

伝統の太鼓踊りでにぎわう

町の伝統行事太鼓踊りが、八月十六日行われ真夏の青空に響くカネと太鼓の競演に、帰省客や近隣から見物に訪れたおおぜいの人たちから盛んな拍手が沸いていました。

今年は四地区保存会のうち、木田地区と西別府地区の二地区が出場。西別府の吉左右踊りを先頭に、最高齢者の永原慶二さん(七六)から最年少の服部一宏くん(一才)まで五十五人の踊り手が、カネや太鼓を打ち鳴らしながら、春日神社や仮屋馬場などで勇壮な道太鼓(道踊り)や庭踊りを披露しました。

木田地区のホタ振りは六年目の上水流良春くんが、西別府地区は九年目の蓬原光哉くんと中山兼久くん(二年目)が務め、また、紅一点の池上千秋さん(西別府地区)も男性に負けじといっしょうけんめい太鼓をたたき、沿道の観衆から盛んな拍手を受けていました。

左から岩下俊一郎くん、俊男さん、栄さん

仮屋馬場で打ち上げ

親子三代で太鼓踊りに出場

岩下栄・俊男・俊一郎さん

木田地区の太鼓踊りに出場している岩下さんは、親子三代の〝太鼓踊り一家〟。今年も、父と子と孫の三人そろって参加しました。

父親の栄さんは、太鼓をたたいて二十年以上のベテラン。俊男さんも、小学生時代は太鼓を、現在はカネを打っており、十七年以上も太鼓踊りに熱中しています。

四歳の時からカネを打ったという孫の俊一郎くん(中一)は、現在は太鼓をたたいており、親子三代の岩下さん一家は、今年も太鼓踊りを大いに盛り上げました。

ゴールデン・ロード・ランブル

金山道漫歩 3

博打ケ穴と陣ケ平

「コラ!夜が明けん中、早よ運ばんニャ」「ンー、東風が吹出せん中……」

観天望気に長けた与八と吉太郎は帷子を尻高ツブイにして、何か怪しげな叺入を後生大事に小舟に積み込んでいる。ときたま叺の中からクックッと異様な鳴声がする。潮の満ちるのは早く、もうひざまで漬っている。

舟を押し出し櫓をこぐ音が遠くなるころ、東雲空は茜色に輝き、シルエットの二人舟は、黒川岬に消えて行った。

途中、水の瀬のこんこんと湧く岩清水を手酌でのどを潤し、博打ケ穴岩場に舫綱をとり、灌木の茂みをかき分け登り着くとそこは十畳敷もあろうか、白砂のある洞穴で、中はまだ暗く、ランタンのほのかな明かりに虎視眈々の眼が光り酒臭が漂う。

そのど真ん中に叺をそっと置くと沈黙の砂上にバラ銭がまかれた。二人は目で合図しながらすかさず銭をかき集め拾って、一目散に舟に戻り離岸すると、上の穴から「コッケコーコー」と鶏鳴が辺りの静寂を破った。

今、ご法度の剣付鶏博打が始まったところである。

飛び交う薩摩鶏の足の付剣が一閃すると、たちまち鮮血が吹き出し、はらわたを引きずりながら、なお起ち向かう闘鶏シーンは、凄絶窮まるものである。

やがてグロッキーになった敗鶏に、さも悔しげにべっ視する男、勝鬨高らかな勝鶏を抱擁し北叟笑む男、嫌悪と殺気に満ちた時間が通り過ぎて行った。いつしか朝の陽光が洞穴いっぱい射し込んでいた。

この付近は、小リアス式海岸で、切り立つ絶壁の大小の洞穴は、何かしらその一つ一つにロマンが秘められているような気がしてならない。

かつて島津藩では、一向宗を断圧していた時、信者たちは、かくれ念仏の場にここを選んでいた、と古老が語ってくれた。

この山頂に古戦場・陣ケ平がある。文和四年(一三五五年)六代島津氏久の畠山攻略、天文十年(一五四一年)島津忠良(日新公)、同十八年十五代島津貴久の肝付攻略の三回にわたる激戦地で、これらの戦で亡くなったかたがたの位牌が黒川岬の岩壁に刻んであったが、今は、ほとんど磨滅している。

血湧き肉躍る若き昔日、私は月光の冴える陣ケ平に登り、一炊の夢と散った幾多武士たちに回向し、会者定離、諸行無情に転たセンチになり、虫の音集だく秋の夜が更けて、銀波金波の月明の錦江湾は、たまらなくすばらしい眺望であった思い出が今よみがえってくる。

博打ケ穴の想像図

博打ケ穴と陣ケ平

筆者…文化財保護審議委員 松田 繁美
(さし絵…新福 貢)

霧島山麓 家庭婦人 ソフトボール大会で優勝

加治木レモンスターズ

「ソフトボールが大好き」というお母さんが集まり、体育保健課の指導で五十八年十月に結成された『加治木レモンスターズ』（三村やよいキャプテン、部員十人）が八月十日、霧島町で行われた「第一回霧島山麓家庭婦人ソフトボール大会」で、みごと初優勝に輝きました。

加治木レモンスターズは、昨年の「ニチイ杯全国ママさんソフトボール大会・県大会」ではベスト4に進出。大崎町ソフトボール大会で優勝するなど好成績をあげており、また、郡民体育大会の選手としても活躍しています。

練習は、毎週土・日の五時からで、三村キャプテンは「今、部員を募集しています。興味のある人は体育保健課に連絡して欲しいですね」と語りました。

今年のニチイ杯では準優勝を

港町チームが二年連続優勝

ちびっ子ソフトボール大会

熱戦を展開

町商工会・青年部主催のちびっ子ソフトボール大会が八月十日、加治木工業高校グラウンドで行われ、八チームが参加しました。

決勝戦では、昨年優勝の港町チームが札立チームを破り、二連覇を達成しました。

結果は次のとおりです。

優勝…港町チーム▽**二位**……札立チーム▽**三位**……須崎チーム

◎最優秀選手賞　切通　剛（港町）
◎最優秀投手賞　宮嶋晃彦（港町）
◎敢闘賞　餅原義久（札立）

十一種目で十二の新記録が誕生

小・中学校水泳記録会

第二十一回小・中学校水泳記録会が七月三十日、加治木中学校のプールで行われ、十一種目で十二の新記録が生まれました。

新記録は次のとおりです。

▽中学男子二百メートルメドレーリレー
坂元・山口・出村・楠元（加治木中）　2分19秒2
▽六年男子二百メートル個人メドレー
吉田典次（加治木小）　3分50秒3
▽中学男子二百メートル自由形
楠元忠修（加治木中）　2分41秒6
出村龍史（加治木中）　2分42秒4
▽中学男子五十メートル背泳
坂本祐一（加治木中）　34秒7
▽中学女子五十メートル背泳
岡本かおり（加治木中）　39秒6
▽五年男子二十五メートル背泳
吉川弘太（柁城小）　23秒7
▽五年女子二十五メートル背泳
津崎みか（柁城小）　24秒6
▽六年男子二十五メートル背泳
中山兼久（永原小）　22秒7
▽六年女子二十五メートル背泳
長井真紀（錦江小）　24秒4
▽中学女子五十メートルバタフライ
東川内かおり（加治木中）　36秒9
▽中学男女二百メートルリレー
高田・下水流・川原・東川内（加治木中）　2分23秒4

ソフトは城南地区 ラケットは竜門地区 が優勝

地区対抗 親子ソフト・ラケットボール大会

地区対抗の男子親子ソフトボール大会と、女子親子ラケットボール大会が、八月十七日町営グラウンドで行われました。

この日は、各地区から参加した十三チームがお父さん、お母さんと力を合わせて熱戦を展開し、地区民から盛んな声援を受けていました。

結果は、次のとおりです。

◎男子親子ソフトボール大会
優勝…城南地区▽二位…錦江第三地区▽三位…城北地区

ソフトの部で優勝した城南地区

◎女子親子ラケットボール大会
優勝…竜門地区▽二位…城北地区▽三位…木田第一地区

ラケットは竜門地区が優勝

総合2位に躍進

姶良地区 郡民体育大会

第十八回姶良地区郡民体育大会が、八月二日と三日の両日、姶良郡西部地区を会場に開催され、加治木町はバレーボールやソフトボール、陸上などで好成績をあげ、二位（昨年四位）に躍進しました。

主な競技の成績は、次のとおりです。

■優勝
▽バレーボール（男子）▽ソフトボール（一般）▽陸上（女子）
■二位…▽弓道▽卓球

手作りみこしが街に繰り出す

第20回夏まつり

夏の暑さを吹き飛ばす町商工会主催の夏まつりが八月三日、蒲生田通りや加治木港を会場に行われました。

今年は、二十回目の記念大会として「子供たちの心に残る郷土の祭り」をテーマに、〝みこしコンテスト〟や〝郷土芸能〟など新しい企画が盛り込まれ、また、旧役場跡地に設けられた〝特設舞台〟では加治木まんじゅうの早食い大会や、キャラクターショーなども行われ、子供からお年寄りまでおおぜいの人でにぎわっていました。

恒例のパレードでは、自衛隊音楽隊や加治木中学校・柁城小学校・錦江小学校のブラスバンドを先頭に、二十七の手作りみこしと、約二千人の踊り連が街に繰り出し、沿道を埋めたおおぜいの観衆からは盛んな拍手が沸いていました。

夜は加治木港で、竜門西浦地区の「棒踊り」と、永原地区の「太鼓踊り」の三つの郷土芸能が披露され、町内外から集まった約二万人の観衆は熱心に見入っていました。

祭りのしめくくりは花火大会。錦江湾に映える約四千発の花火が観衆を魅了し、夏の祭典は幕を閉じました。

上手に踊れましたヨ

オール阪神・巨人ショー

中央2が優勝

夏まつりゲートボール大会

夏まつりゲートボール大会は八月三日、二十七チームが参加して役場グラウンドで行われ、中央2が優勝しました。

金賞は高井田子ども会

みこしコンテスト

夏まつりの呼び物〝手作りみこしコンテスト〟には、二十三団体から工夫を凝らした二十七のみこしが出品され、林審査委員長をはじめ、岩屋収入役、下猶議長、坂元広子さんなどの審査員によって「郷土色豊かで、アイデアのすばらしいものを」と慎重な審査が行われました。

審査の結果、小・中学生の部では、春日神社の社をかたどった高井田子ども会のみこしが、金賞に輝きました。

高井田子ども会では「神仏を敬う心を養うとともに、地域の歴史を伝えよう」とダンボール箱などを持ち寄り、全員で話し合い、二日間かけて製作したものです。

また、園児の部では加治木保育所が、一般の部では加治木産業がそれぞれ金賞を獲得しました。

祭りだ!! ワッショイ!

フラッシュマンが南九州病院を慰問

「夏まつりを見に行けない子供たちにも、祭りに参加してもらおう」と、今年も商工会青年部員と〝フラッシュマン〟が八月三日、南九州病院を慰問し、筋ジス病棟の子供たちと楽しい時間を過ごしました。

子供たちは、目の前で繰り広げられるフラッシュマンショーに大喜び。改造実験帝国メスと闘う五人のフラッシュマンに盛んな声援を送っていました。

また、ショーの後は、フラッシュマンと握手したり、いっしょに記念撮影を行い、大喜びでした。

フラッシュマンショーに大喜び

300食のソーメンに舌鼓

松田節生さんがふるまう

西諏訪の松田節生さんが、今年も夏まつり見物に訪れた六十五歳以上の人に〝冷たいソーメン〟をふるまいおおぜいのお年寄りでにぎわっていました。

これは昔〝おぎおんさあ〟の時、商工会員がソーメンをふるまっていた、という懐しい行事を復活。今年で三年目を迎え、夏まつりの恒例となりました。

この日、準備したソーメンは三百食分で、老人慰問ショーなどを楽しんだお年寄りが訪れ、冷たいソーメンに舌鼓を打っていました。

また、松田さんは望岳園にも「夕食に……」とソーメンを届け、お年寄りに喜ばれています。

ソーメンに舌鼓

錦江湾をマダイの豊庫に

六万五千匹の稚魚を放流

錦海漁協

錦海漁協（春山鉄翁組合長）では、今年もマダイの稚魚六万五千匹を八月八日、姶良町の松原沖に放流しました。

これは、錦江湾をマダイの豊庫にしようと県が進めている「鹿児島湾マダイ放流事業」を受けて実施しているもので、今回で七回目を迎えました。

今年放流した稚魚は、垂水市の県栽培漁業センターで中間育成された体長約五㌢のもので、漁協の理事などが「大きくなれよ」と願いを込めて放流しました。

松原沖に放流

うなぎの稚魚10㌔を放流

網掛川内水面漁協

網掛川内水面漁協（吉薗清組合長）では今年も八月七日、うなぎの稚魚十㌔あまりを、辺川の川原田橋と小山田保育所前の二か所で放流しました。

これは、釣り人に楽しんでもらおうと、増殖事業の一つとして毎年行っているもので、今年放流した稚魚は、川内川で採取し、育成された体長約二十五㌢のもので、放流すると勢いよく泳いでゆきました。

マナーを守って、釣りを楽しみましょう。

放流する吉薗組合長

薬草知られざる効き目 ㊱

イチョウ

中国原産のイチョウ科、落葉性の大高木で、高さ三十㍍、径二㍍にもなる。雌雄異株、実がなるまで二十～四十年かかる。

公が植えても、実が食べられるのは孫の代で、公孫樹と書く。

イチョウの仲間は、三億年前に出現、二億五千万年前から世界中に栄え、六千五百万年ぐらい前に現在のイチョウを残し、ほかは滅びてしまった。

雌花は数㌔㍍離れた雄花の花粉を受粉することが可能で、実をまくと百㌢発芽し、挿木でもよい。ソテツと共に進化のおくれた植物であるが、極めて生命力が強い。

秋になると黄葉するが、これを本にはさんでおくと虫よけになり、落葉したのを集めて堆肥にまぜると殺虫効果がある、といわれるが腐りにくい。

生葉を陰干しにし、せんじてしもやけに温湿布する。黒焼きにして飯粒でねり、うおのめに厚くはるととれるそうです。

銀杏（ぎんなん）の落つるを待ちて拾いけり　まさお

イチョウの実が銀杏で、食用に薬用に活用されるが、過ぎると消化不良、発熱、嘔吐、中毒死することがある。十五個程で中毒することもあるそうです。

夜尿症には六～七個を焼いて一日に食べさせる。一回六～七個を炒るか煮るかして食べるとたんの切れをよくし、せきが楽になるといわれます。

実を生のままつぶして、その汁を腫物、虫刺され、皮膚病にぬるとよいとか。

実に滋養強壮の効があり、毎朝食べると、食欲を増進し、強精の効あり、といわれるが、過ぎざることが肝要…。

イチョウのまないたはいかが。包丁の刃がつぶれず、木質の切りくずがでない。

銀杏散（いちょう）る　遠くに風の音すれば　風生

（筆者　県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、ご遠慮ください。

「西元五月会」が清掃奉仕

小山田の「西元五月会」（梅木輝男会長、会員二十四人）が七月二十六日、高井田林道（高井田～毛上、一二七一㍍）の草払いを行い、地区民に喜ばれています。

「西元五月会」は、篠崎秋明さんや脇英雄さん、日高功さん、芝原年男さん、安田忠義さんらが、西元地区の二十歳以上の青壮年に呼びかけ、五十九年に結成したグループで「地区の行事には、積極的に協力しよう」が申し合わせ事項。これまでも地区の運動会の準備などを手伝い喜ばれています。

竜門の会

黒南風のなか検診の列にあり　柳田　稔

絵日記の頁はみだす大花火　川崎　黒兎

歯の白さ一際めだつプール守り　内田美津代

町挙げて阿呆となる日や夏祭　高木　正男

道端に昨夜（よべ）の歓喜の屑花火　川上　節子

ふるさとの舌になじめり夏座敷　古江　重美

傘かがり女太鼓にはじまれり　竹山　洋子

パラソルを今年は杖に替えて旅　佐々木かすみ

先触れの過ぎて巷は山車（だし）の列　加藤　白柳

お知らせ

お題は『木』
六十二年歌会始

昭和六十二年の歌会始のお題が『木』（樹と詠んでもよい）と定められました。

■詠進歌の詠進要領

▽自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

▽用紙は、半紙（和紙）とし、毛筆で自書してください。（病気等のため自書することができない場合は、代筆でも差し支えありませんが、代筆の場合には、別の紙に代筆の理由、代筆者の住所及び氏名を書いて、詠進歌に添えてください）

なお、点字で詠進しても差し支えありません。

▽書式は、半紙を横長に用い、右半分にお題と歌、左半分に郵便番号、住所、氏名（本名、ふりがなつき）、生年月日及び職業（なるべく具体的に）を縦書きで書いてください。

■詠進の期間

九月一日から十月十一日まで（郵送の場合は、消印が十月十一日までのものを有効とします）

■あて先

〒100　東京都千代田区千代田一番一号　宮内庁

（封筒に「詠進歌」と書き添えてください。詠進歌は、小さく折って封入しても差し支えありません）

（書式図）

より良い暮らしのアシスタント
九電ホームサービス

毎日の生活に欠かせない電気ですが「電気はどうもにが手……」とおっしゃる奥さまは意外と多いものです。

（**九電ホームサービス**）は、ご家庭の奥さまがたが楽しみながら電気に詳しくなっていただくためのアシスタントです。

奥さまがたの〝ちょっとしたお集り〟などにご活用ください。

お申し込み・お問い合わせは、九州電力・加治木営業所（☎六二―二一二八）へお気軽にどうぞ。

秋の全国交通安全運動
9月21日～9月30日

「秋の全国交通安全運動」が、九月二十一日から九月三十日までの十日間実施されます。

今回の運動は次の三つを重点目標としています。

▽シートベルト、ヘルメットの正しい着用の徹底

▽歩行者及び自転車利用者の交通事故防止

▽二輪車を中心とした無謀運転の追放

うぶ声

出生児　保護者　自治会

北園　昭一　輝美　西塩入下
吉満　友紀　秀利　赤坂
大宮路　剛　修一　西塩入上
藤野　直人　光志　蔵王団地
柚木　厚美　耕二　西浦西
立山恵利那　敏博　西江口団地
宮路　駿一　悟　赤坂
立野　裕大　和人　内原田
松元　亮也　達也　蔵王団地
米倉あゆみ　浩一　岩原東
松元　恭平　秀二　東塩入
末吉　郁也　浩一　蔵王団地
岩下　朋代　敏文　吉原
有馬　裕子　芳一　空港団地
大石　沙貴　司　蔵王団地

▽八月二十日までに住民票に記載された分を掲載しました。

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　新町　渡辺キヨ子（夫周一五〇）
二万円　札立　永岩初男（母テル子六九）
三万円　端山　松田篤雄（父　経八一）
二万円　西塩入下　竹内テル子（夫　不二夫六九）
二万円　茶碗屋　猪俣広子（夫　芳弘三一）
二万円　中浜　徳永　仁（父　一七一）
三万円　新開　川床長記（父清治八三）
二万円　辺川下　大宮路時義（長男　完四九）
三万円　口ノ町　川添重男（母　ケサ八八）
三万円　楠園　吉薗道春（長男　裕文二九）
三万円　上木田　穂満　茂（父　三郎八六）
三万円　里ノ上　山元真子（父　嘉吉九〇）
五万円　岩原東　老山悦子（夫　謙一四九）
二万円　川内　東川内和子（夫　弘六一）
二万円　献園　三反　勝（母　トメ八九）

＝町老人クラブ連合会へ＝

三万円　日木山黒川　梅橋トミ（夫　平覚六五）

▽八月二十日までのご寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

特別寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

▽五千円　加治木郵便局一同
夏まつり〝みこしコンテスト〟入賞記念

▽十万円　小濱　豊（東塩入）
夫の初盆によせて

ありがとうございました。